

令和 5 年度 錦川鉄道生活交通改善事業計画（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）

1 事業の目的・必要性

錦川清流線は、過疎化・高齢化の進む沿線地域において通勤・通学・通院等の住民生活を支える重要な交通手段となっているが、旧国鉄岩日線川西～河山間の開業以来 50 年以上が経過し施設全体の老朽化が進んでいる。

ケーブル交換、電子閉塞装置制御盤改修、レールの交換【重軌条化・同種更新】、マクラギの交換【PCマクラギ化・同種更新】、道床補充【MTTによる総つき固め】を行う事により、近年頻発する異常気象による自然災害に対する災害対応能力を強化し防災・減災に努めるとともに、輸送の安全を保つ必要がある。

また、平成20年に導入した車両に全般検査等を実施することによって、輸送の安全の確保を図る。

2 事業の定量的な目標及び効果

錦川清流線は、開業以来赤字経営を余儀なくされており（令和 3 年度経常損失 122,412 千円）、損失補てん等のために積み立てた基金の減少も著しい（開業当初 660,000 千円から令和 4 年度末 84,711 千円に減少）。こうした中、鉄道施設総合安全対策事業費補助（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）等を活用し、老朽化した鉄道施設の更新を行うことにより災害対応能力を強化し防災・減災に努めることで、13 万 0 千人（令和 3 年度年間利用者）の輸送の安全を向上させる。

3 事業の内容と当該事業を実施する事業者

別紙 1 に記載

4 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

令和 5 年度事業費（国補正予算追加要望） 111,070 千円

負担額 国	:	33,512 千円（負担割合 30.17%）
山口県	:	5,050 千円（負担割合 4.55%）
岩国市	:	10,100 千円（負担割合 9.09%）
基金	:	5,050 千円（負担割合 4.55%）
錦川鉄道	:	57,358 千円（負担割合 51.64%）

5 計画期間

別紙 1 に記載

6 協議会の開催状況と主な議論

令和 5 年 5 月 26 日（第 1 回） 事業内容、費用負担について議論
費用負担を含む計画全体について合意

令和 6 年 2 月 20 日（第 3 回） 事業内容、費用負担について議論
費用負担を含む計画全体について合意

（協議会の構成）

「岩国市地域公共交通活性化再生法協議会委員名簿」のとおり

岩国市地域公共交通活性化再生法協議会

令和 6 年 2 月 日

設備・保存費の区分	整 備 の 概 要													備 考
		令和5年度 (2023年度)				令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)		令和8年度 (2026年度)		令和9年度 (2027年度)		
		令和5年度当初		令和5年度補正										
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所									
信号、通信線	ケーブル更新			24,800	南河内～北河内間 10K986m～12K450m L＝1,464m			27,200	南河内～北河内間 12K450m～13K850m L＝1,396Km	30,300	河山～錦町間 30K950m～32K727m L＝1,777Km	27,150	森ヶ原～清流新岩国間 3K810m～5K218m L＝1,410Km	
電子閉塞装置	制御盤改修			5,500	錦町構内 制御盤1台									
橋りょう	橋梁コンクリート補強							3,100	清流新岩国～守内かさ神 1箇所			3,150	守内かさ神～南河内 1箇所	
小 計				30,300				30,300		30,300		30,300		
レール	重軌条化			5,500	北河内～棕野駅間 14k439m～14k539m L＝110m					6,600	行波～北河内駅間 11k299m～11k466m L＝167m	6,600	行波～北河内駅間 11k299m～11k466m L＝167m	
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新			7,600	河山～柳瀬 28k460m～28k542m 64本			7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 64本	7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 80本	7,600	河山～柳瀬 28k000m～28k600m 80本	
橋りょう	橋側歩道新設							8,700	北河内～棕野 20k514m～20k524m L＝19.2m					
マクラギ	木製マクラギの更新 【同種更新】			9,600	北河内構内 分岐マクラギ10本 根笠～河山間 並マクラギ210本			9,600	森ヶ原～錦町間 320本	9,600	森ヶ原～錦町間 320本	9,600	森ヶ原～錦町間 320本	
レール	レールの更新 【同種更新】			1,200	行波～北河内間 13K300m～13K350m L＝50m			1,200	森ヶ原～錦町間 50m	1,200	森ヶ原～錦町間 50m	1,200	森ヶ原～錦町間 50m	
軌道道床	MTTによる総つき固め			13,290	清流新岩国～行波間 3K900m～9K700m L＝2,900M			13,290	森ヶ原～錦町間 2,800m	13,290	森ヶ原～錦町間 2,850m	13,290	森ヶ原～錦町間 2,800m	
車両	車両制御装置の更新			1,440	3001号 1両									
車両	重要部検査			23,790	3003号 1両					12,500	3001号 1両	12,500	3002号 1両	
車両	全般検査			14,900	キハ40 1両			23,790	3004号 1両					
車両	車輪交換			3,450	3004号 1両			3,450	3002号 1両					
小 計				80,770				67,630		50,790		50,790		
合 計		0		111,070		0		97,930		81,090		81,090		

注) 1. 「設備・保存費の区分」欄は、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業に関する運用方針」別表の工事内容の区分又は鉄道事業会計規則に基づき記載すること。

2. 計画期間内において実施する設備整備がない場合は、「事業費欄」に「0」を記載すること。

3. 必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。

別紙 1

(単位:千円)

設備・保存費の区分	整備の概要	令和5年度補正分						
		全体		国	県	市	基金	事業者
		事業費	整備対象箇所					
信号、通信線	ケーブル更新	24,800	南河内～北河内間 10K986m～12K450m L=1,464m	8,267	4,133	8,267	4,133	0
電子閉塞装置	制御盤改修	5,500	錦町構内 制御盤1台	1,833	917	1,833	917	0
小 計		30,300		10,100	5,050	10,100	5,050	0
レール	重軌条化	5,500	北河内～棕野駅間 14k439m～14k539m L=110m	1,833				3,667
マクラギ	並マクラギをPCマクラギに更新	7,600	河山～柳瀬 28k460m～28k542m 64本	2,533				5,067
マクラギ	木製マクラギの更新 【同種更新】	9,600	北河内構内 分岐マクラギ10本 根笠～河山間 並マクラギ210本	3,200				6,400
レール	レールの更新 【同種更新】	1,200	行波～北河内間 13K300m～13K350m L=50m	400				800
軌道道床	MTTによる総つき固め	13,290	清流新岩国～行波間 3K900m～9K700m L=2,900M	4,430				8,860
車両	車両制御装置の更新	1,440	3001号 1両	480				960
車両	重要部検査	23,790	3003号 1両	5,948				17,843
車両	全般検査	14,900	キハ40 1両	3,725				11,175
車両	車輪交換	3,450	3004号 1両	863				2,588
小 計		80,770		23,412	0	0	0	57,358
合 計		111,070		33,512	5,050	10,100	5,050	57,358
負担率(%)		100%		30.17%	4.55%	9.09%	4.55%	51.64%